

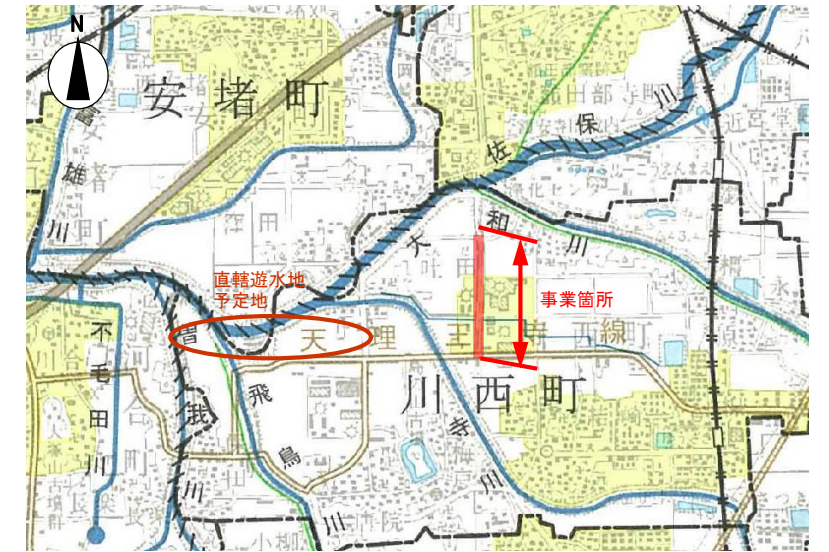
# 事業箇所総合評価シート

【担当課： 河川課】

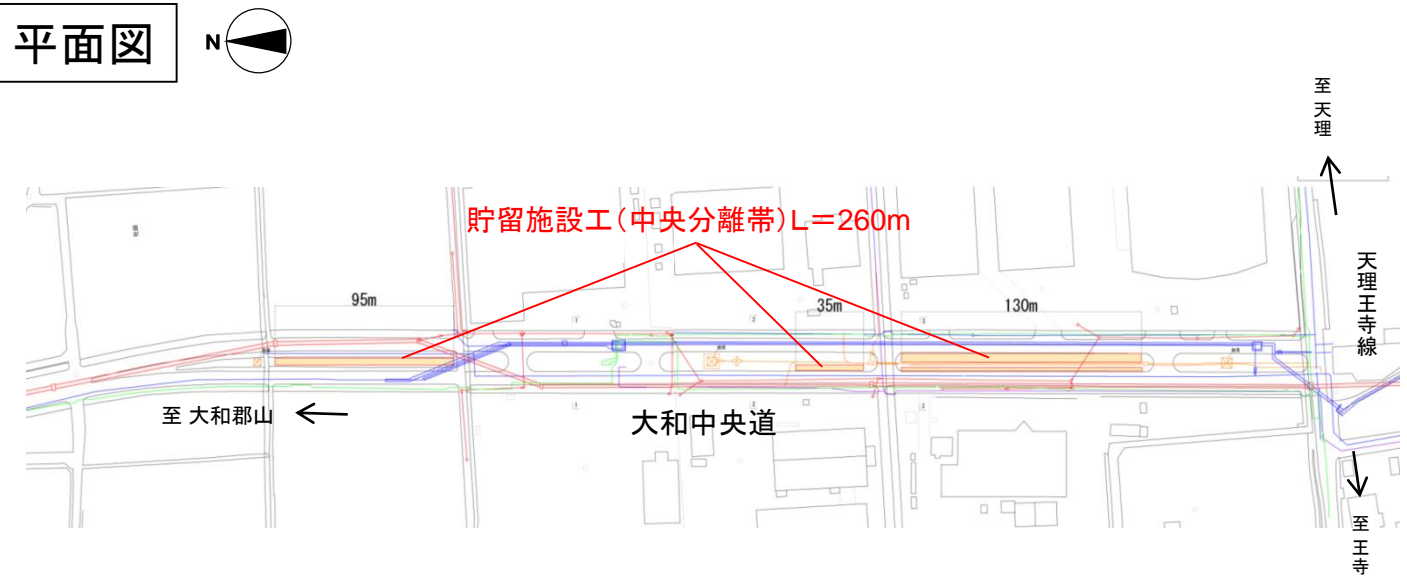
事業名	防災・安全社会資本整備交付金事業	路線名等	大和中央道(川西町) (寺川)		
箇所名	磯城郡川西町吐田				
事業の概要	目的	寺川の樋門閉鎖による内水浸水被害が発生しており、貯留施設の整備を行うことにより、県道の浸水被害の軽減を図る。			
	事業内容	事業名：防災・安全社会資本整備交付金事業(旧流域貯留浸透事業) 事業区間：磯城郡川西町吐田(寺川) 計画諸元：貯留施設工 V=1,850m <sup>3</sup>			
	着手年度	平成30年度	完成年度	平成32年度	全体事業費
					95百万円
定性的評価	事業の必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当地区は、内水対策に重点的に取り組む地区であり、大和中央道(県道大和郡山広陵線)の内水浸水被害を軽減するために必要であるとともに、川西町内で計画されている直轄遊水地の関連地区であるため、直轄遊水地の整備進捗を図るためにも事業の早期着手が必要である。</li> <li>・経緯 S57,H7,H19年：浸水被害の発生 H25.11：大和川水系河川整備計画(国管理区間)策定(直轄遊水地の整備) H27年～：貯留施設の検討着手</li> </ul>			
	上位計画等	大和川流域整備計画(S60.7策定 大和川流域総合治水対策協議会)			
	事業の有効性 (事業により予想される効果及び影響)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大和中央道(県道大和郡山広陵線)の中央分離帯に有効容量1,850m<sup>3</sup>の貯留施設を整備することで浸水被害の軽減を図り、川西町内で実施される水田貯留の効果とあわせて大和中央道において車両通行が可能となる。(10年確率規模降雨時に最大浸水深が20cm)</li> <li>・浸水被害の軽減</li> <li>・大和川総合治水対策の促進</li> </ul>			
	コスト削減への取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然排水が可能な簡易な構造の採用</li> <li>・大和中央道中央分離帯の有効活用</li> </ul>			
	地元情勢等	住民は浸水被害軽減の対策を強く要望している。			
他計画他事業との関連	大和川水系河川整備計画(布留飛鳥圏域)				

評価結果	左の理由
採択	直轄遊水地の整備と連携し、川西町の水田貯留と併せて効果的に内水浸水被害を軽減するため、事業実施は妥当である

## 位置図



## 平面図



## 横断面図

